

不正出血について

函館中央病院
産婦人科

田沼 史恵
科長



産婦人科では、不正出血を主訴に受診される方が多くみられますが、その際、「異常かどうかの判断がわからなくて、受診のタイミングが難しい」といった疑問をよく耳にします。月経以外の出血はすべて不正出血ですが、このほかに月経の量がいつもと違う、持続期間が長いなどの月経にまつわる症状も広い意味で不正出血としてとらえられます。これらには緊急性のあるものと経過観察可能なものがあり、自己判断は困難なことが多いため、迷ったら婦人科受診をしてみることをおすすめします。

では、不正出血がある場合どのような病気が考えられるのでしょうか。まずは妊娠中の出血かどうか、そして膣や子宮以外からの出血ではないかどうかを調べます。そのような場合は疑われる病気が変わってくるからです。妊娠時以外に見られる不正出血には、大きく分けて2種類あり、「器質性出血」と「機能的出血」に分類されます。器質性出血とは、膣や子宮などに何らかの病気があるために起こる出血のことで、原因としては子宮腔部びらん、子宮頸管ポリープ、子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体癌などがあります。一方で機能的出血はこれらの原因がなく、いわゆるホルモンバランスの乱れによって

起こるものです。不正出血で受診される方の多くは機能的出血であり、思春期や更年期に出やすい症状です。経過観察でおさまることが多いのですが、出血量が多い場合や出血期間が長い場合は治療を要する場合があります。

受診された際には必要に応じて妊娠反応、子宮がん検診、超音波検査、おりもの検査、血液検査などを行って診断し、治療法を決定するため、症状があれば一度受診しておくこと、また普段の状態を把握しておくためにも定期的な婦人科検診を行うておくことが大事です。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代)
<http://www.chubyo.com/>

- 診療科目／内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目
- 受付時間／8:30~11:30、13:30~16:00
※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
- 休診日／日曜・祝日・年末年始

【略歴】

平成11年、北海道大学 医学部卒業後、北大病院 産婦人科、函館中央病院、平成12年、滝川市立病院、平成15年、国立函館病院、平成16年、市立函館病院勤務を経て、平成18年、函館中央病院産婦人科医長に。平成29年、科長就任。日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医。周産期医学、婦人科腫瘍専門。